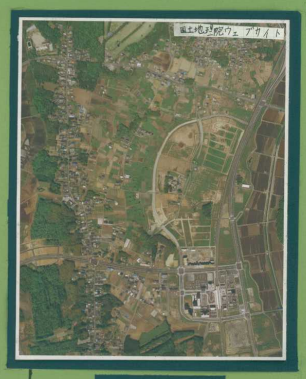
わたしの街ができるまで
～万博記念公園駅周辺～

つくば市立島名小学校 4年 岩田明香里

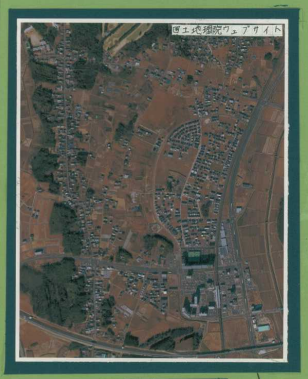
動機

私が引っこして来てから五年が経った。この地に家を建てようとしていた頃は、夜は真暗になっていたのに、この5年間に私の家の周りにはたくさんの建物が建った。小学校も、私が入った時は3クラスだったけれど、今の新入生は4クラスに増え、校舎も1棟増えたのえこで、昔から今まで建物がどのようにどれくらい増えてきたのか、万博記念公園駅周辺の人口はどれくらい増えたのかなど気になったので、調べた。

1984年 12月23日



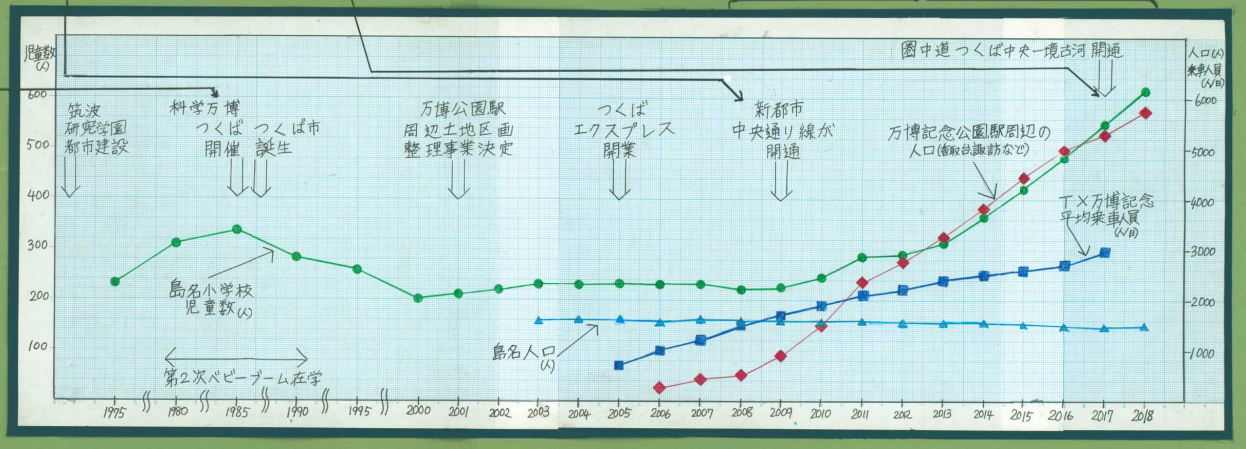
2008年 5月6日



2017年 2月15日

考察

- 1984年、科学万博の前年、万博会場は既に姿を現していたけれど、会場に近い今の香取台の地域は、ほとんど何もなかった。当時の建物で今でも残っているのは、香取神社と妙徳寺だけだった。2001年迄の航空写真でも、この地域はほとんど変わっていなかった。
- つくばエクスプレス開通3年後の2008年になると、この地域の宅地造成はかなり進んでいた。香取台北部のA街区に住宅が建ち、駅前に今もあるマンションの多くが建っていた。マンションが意外に古くから建っていて驚いた。開発は、駅前の諏訪と香取台北部から始まったようだ。
- 一方、まだ造成中や造成前の区画もあり、今はもうない昔からの家が現在の道路のところに建っていたりした。この年の地域の家は9軒、翌年は建物はほとんど増えていない。
- 2010年から建物が徐々に増え始め、スーパーマーケットなどの商業施設も出来た。これ以前はずい分不便だったと思う。2012年からは、建物が急速に増え始めた。そして、2013年には、年間建設数が最高の117軒に達し、2015年まで年間80軒以上の建設が続いた。
- 年によって、建物が建っていく区画が段々変化している。これは造成完了した区画の移り変わりに対応しているように思う。2014年には、香取台B街区北西の大型宅地に家が一気に建った。
- 開発は、この地域の南・北から始まって徐々に中央に向かい、それから少し西のエリアに移ったようだ。最近は、周回道路の内側(B街区)は、一部のまとまった土地を除いて、だいたい家が建ち並び、今は周回道路(A街区西部)の開発がされている。
- こうした住宅の増加に対応して、地域の人口も増加している。周辺の島名の人口が変わらない一方で、2007年から駅周辺の人口は急激に増加し始め、島名小学校の児童数もこれに少し遅れて2010年から急激に増加し始めた。また、この10年の児童数の増加に伴って、小児科や保育園、習い事教室も出来た。
- 万博記念公園周辺の開発は「田園都市 島名」という名前で進められている。私の両親は、「田園都市」という言葉に表れる自然が多い環境にひかれてここに家を建てたと言っていた。開発が進み、人口が増えにぎやかになり、便利になり、交通が増えることはうれしいが、その一方、この地域の魅力である自然は失われているような気がする。また、今は、同じ歳の友達が沢山いるけれども、みんなが同じように歳をとって、いつか街に元気が無くならないかが心配だ。

調査データ

- 茨城県土浦土木事務所 つくば支所 航空写真 まち図面
- 国土地理院ウェブサイト (地図・空中写真閲覧サービス) 航空写真
- 茨城県教育委員会ホームページ (教育統計)
- つくば市行政区別人口統計
- 島名・福田地区 まちづくりニュース No28. 31. 39. 48. 50、54